令和３年１月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和２年１２月２８日（月）
２．開 催 日 時　令和３年１月１９日（火）　１３時３０分～１５時３０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２２人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１７人（Web 会議システムによる出席１７人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、原田 政吾、竹内 博次、曽根 光彰、南　直樹、齊藤 基樹、秋山 正稔、山田　毅、田村 大輔、横山 聡洋、藤田 亮則、後藤 章洋、小澤 恒夫、富居 博治、玉木 寛之、上島　健、安室 篤志

９．出席監事の氏名

池田 隆久、川村 道夫

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　東京工業大学製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、昨年中止延期となった第７期の募集が昨日から始まり、組合員の皆様にはメールと郵送でご案内したとことの報告があり、最低１８名の受講申込が無ければ開催されないことの説明があった。続いて資料に基づき、募集要項に新型コロナウイルスの対応に関する項目が追加され、東京工業大学の対応方針に従って、対面講義がオンライン講義になることも考えられることの説明があった。

嶋崎議長から、継続して行きたい大事な教育事業なので、組合員企業から受講生１８名を確保したい旨述べられ、後日、前回第６期の受講生のアンケートをまとめ、組合員企業に発信し、魅力を伝えたいことの説明があった。

嶋崎議長から意見が求められ、齊藤理事及び田村理事から次のように述べられた。

・是非途絶えさせないようにご協力をお願いしたい。
・オンラインでの受講は厳しいのではないか。

嶋崎議長からオンライン講義については使い勝手の悪いところがあるかもしれないが、受講申込について前向きな検討をして欲しいと要請があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　令和３年度事業計画案ならびに組合スケジュールについて

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、令和３年度事業計画案の各項目について説明があった。事業計画案及び組合スケジュールについては、例年の実績を踏まえて作成したが、１２月例会については、正副理事長会で検討し、計画しないことになったことの報告があった。

講習会については、集合型とオンライン型を合わせたハイブリット型での開催を検討していることの報告があった、また令和４年度に組合創立５０周年を迎えるにあたり、記念式典の準備を進めるために新たな事項として追加したことの説明があった。

嶋崎議長から、全般について次のように説明があった。

・永年利用していた東京會舘の閉館により、総会や新年賀詞交歓会の会場を模索していること。
・５月の通常総会は、芝パークホテルで開催を予定していること。
・ハイブリット型の講習会については、先日の配信テストである程度目処が立って来たこと。
・創立５０周年記念式典については、４０周年の時と同様に式典・記念誌・表彰の小委員会を組織し、実行委員会としたいこと。実行委員長には、理事長経験者にお願いしたいこと。

嶋崎議長から意見が求められ、横山理事から４０周年の際に委員として携わり、記念誌の作成に時間が掛かったことが述べられ、早めの準備が必要であると意見があった。

嶋崎議長から、準備を進めるにあたり小委員会等のメンバーについては、正副理事長に一任いただきたい旨述べられ、全員異議なく承認された。

嶋崎議長は、令和３年度事業計画案ならびに組合スケジュールについて議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　オンライン講習会について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、１１月２日の第１回配信テストで課題となっていた映像の不具合（画質の劣化、動作のぎこちなさ）については、その後テストを重ね解消されたが、ビデオミキサーを使用した際に音声（講師の声、映像の音声）が配信できないことが新たな課題となった。その後、事務所でのテストでは解消されたが、実際の講習会場を利用しての１月１３日の配信テストでは、会場の音響設備との不具合があり、音声が配信できなかったが、ハイブリット型での講習会開催に向けて少しずつ進んでいることの報告があった。

続いて、必要機材としてノートパソコン２台（講師用の更新と高性能なWeb配信用）、ビデオカメラ、スピーカーフォンが考えられるが、IT機器はすぐに技術が更新されることを考え、リースによる使用を検討したいことの説明があった。

今後、音の課題については改善方法があるとのことなので問題を解消し、２月２６日開催予定の第５回品質活動発表会のオンライン配信に向けて準備し、４月の初級熱処理塾のハイブリット型の開催に結び付けたいことの説明があった。

嶋崎議長から、ハイブリット型の講習会について受講者へ配信される映像について質問があり、安室事務局長から資料に基づき、説明があった。

齊藤理事から、配信用のパソコンについては高性能ものが必要との意見があり、早急な準備を進めるように述べられた。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　定款の一部変更について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、定款の一部変更について、５月の総会において議案として上程したいことの説明があった。

内容としては、①平成２７年１０月の「暴力団排除条例」の施行により、暴力団等反社会的勢力の排除に向けた対応が浸透していることを踏まえ、暴力団排除規定の追加が必要で、第８条（組合員の資格）、第１１条（除名）、第１７条（役員の定数）に追記すること。②第２０条（理事長、副理事長および専務理事の選出）の語句の訂正（「選出」を「選定」に訂正）すること。

続いて総会承認後の申請及び届出等の提出先については、認可等に係る権限が都道府県に移譲されることが決定され、昨年１０月１日以降、関東経済産業局から東京都産業労働局に変更になったことの報告があった。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、定款の一部変更について全員異議なく承認された。

第５号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、青年部会の令和３年度活動計画について昨年１２月１４日に曽根副理事長と正副部会長で打合せを行ったことの報告があり、来年度については、今年度開催できなかったセミナーの開催を中心に下記４項目の活動計画が上がったことの説明があった。

①セミナーの企画について（「CASE」「MaaS」「カーボンニュートラル」等をテーマに含めて検討する。）

②熱処理業界のPRについて

③関東経済産業局との連携について（製造産業課と意見交換及び情報の共有を行う。）

④メンバーの意見や要望を取り上げる。

田村部会長、横山副部会長及び山田副部会長から、今年度残念ながら中止したセミナー講師の大阪大学 平田教授とも繋がりを保ちながら進めて行きたい旨、述べられた。

嶋崎議長から、組合として活動に制限を設けずに後押しして行きたい旨述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第６号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、１２月１０日に実施された令和２年度第４回 BCP 推進 WG について、議事録に基づき説明があった。

主な内容としては、①連携型のマニュアルのブラッシュアップについて、②エリア分け及びエリアリーダーについて(組合活動に参画している組合員企業を中心にお願いする。)、③中小企業基盤整備機構のホームページでの事例紹介について（取材については終了しているが、映像撮影についてはコロナの影響で保留している。）。

玉木理事（リーダー）から、①来年度はマニュアルに基づいたシミュレーションを実施したいこと、②BCP を策定していない組合員企業を WG メンバーに加えたいこと、③組合

ホームページを活用して情報を発信したいこと、④内閣府から自社が BCP アンケート調査を受けたことについて述べられた。

嶋崎議長から、広域連携のための枠組み作りをテーマに進めて行きたいと述べられ、意見が求められた。

藤田理事、小澤理事、後藤理事及び川村監事から、大事なテーマなので協力して行きたい旨、述べられた。

続いて安室事務局長から、１月１３日 Web 開催の技術・品質合同委員会について報告があった。主な内容としては、①オンライン（Web）テスト講習会について、②第５回品質活動発表会について（２月２６日にオンライン配信による開催予定）、③来年度活動計画について（集合型とオンライン型を合わせたハイブリット型での講習会の開催）、④BCP 推進 WG 活動報告について、⑤その他報告事項（東京工業大学製造中核人材育成講座の募集開始について）、⑥新委員の報告。

横山理事（技術委員長）から、「初級熱処理塾」については、ビジョンセンター田町で開催予定していることと理事会終了後、同会場にて玉木理事と事務局でオンライン配信に向けて音響設備のテスト行うこと。また技能検定試験の開催の有無で受験対策講習会の開催を検討することになることの説明があった。

嶋崎議長から、集合型で開催する講習会とオンラインできるものを区別して行うように棲み分けを考えていると述べられた。

秋山理事から、課題となっている講師の育成について組合員企業のご理解をいただいて進めて行きたい旨、述べられた。

富居理事から、コロナの状況により集合型の講演会に人を派遣できない状況であることの報告があった。

上島理事及び池田監事から、オンライン講習会が実現できると参加しやすいので、活用して行きたいと述べられた。

嶋崎議長から、講師については自前で対応できるようにして行きたい旨、述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第７号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、令和２年１２月の組合員・の異動について報告があった。

一般社団法人全国中小企業共済財団 上杉氏より、「金属熱処理業あんしん保険」についての説明があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和３年１月１９日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　　嶋崎 利行　　㊞

出席理事　　原田 政吾　　㊞

出席理事　竹内 博次　㊞

〃　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　小澤 恒夫　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　安室 篤志　㊞

出席監事　池田 隆久　㊞

〃　川村 道夫　㊞